

オリンピック・パラリンピック教育における 被災地等と連携したパラスポーツ体験交流の実施について

事業実施の背景・目的

(1) 事業実施の背景

- 東京2020大会の開催都市であり、また、パラスポーツ競技団体が多く存在する東京都は、全国のパラリンピック教育をリードする役割を期待されている。
- これまで都教育委員会は、他県訪問により都の特徴ある取組の情報提供等を行うとともに、パラリンピック教育充実のための連携方策等について協議してきた。

(2) 事業の目的

- これまで実施している障害者理解の学習、障害者スポーツの体験や障害者との交流など、障害者理解を進める教育を一層充実させる。
- 東京を修学旅行で訪れる被災地等の学校が、都内の学校とパラリンピック競技体験等を通じて交流することにより、互いの生活習慣や文化の違いを理解し、共生・共助社会の実現に必要な多様性を尊重する態度や能力を身に付ける。

被災地等の学校とパラスポーツ体験を通じた交流を実施

実施概要

●実施日及び会場

平成31年5月14日(火)	世田谷区立東深沢中学校
平成31年9月4日(水)	東京都立白鷗高等学校附属中学校
平成31年9月11日(水)	品川区立豊葉の杜学園

●参加校

(受入校)	(交流校)
世田谷区立東深沢中学校	宮城県石巻市立山下中学校
東京都立白鷗高等学校附属中学校	宮城県山元町立坂元中学校
品川区立豊葉の杜学園	宮城県石巻市立河北中学校

●体験競技

ボッチャ



●交流内容(世田谷区立東深沢中学校の例)

◆事前学習

- ・調べ学習 互いの都市やパラスポーツ(ボッチャ)についての調べ学習
- ・事前交流 ビデオレターで、学校生活の様子(校歌合唱等)、地域の文化や名勝地等の紹介

◆当日の交流活動(予定)

12:15	昼食交流
13:00	講演「ボッチャを通じた障害者理解について」 ボッチャ競技体験(試合形式)
14:15	交流セレモニー(記念品交換・合唱等)
14:30	終了

◆事後学習

交流レポートやビデオレターを交換するなど、長く交流が続く活動へ発展